

目標達成計画

作成日: 平成 21年 12月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	実践に即した理念を検討中	利用者一人ひとりにどう生活してもらいたいか、どんなグループホームを目指して仕事をしていくか、職員の中から出た言葉を理念として掲げたい。	職員がどういう気持ちで仕事をしているのか意見を聞いていく。その中から出たものをまとめて検討する。	12ヶ月
2	4	職員全員は、介護計画の理解や必要性を感じてはいない。また家族や本人を交えての話し合いも利用者全員は出来ていない。	職員間で情報を共有しながら介護計画の必要性や理解を深めていきたい。家族や本人の思いも介護計画に取り入れていけるようにする。担当職員がケアプランの作成が出来るようになる。	ケアプランの必要性等の理解とケアプランの作成が出来るための内部研修を計画していく。更新時等のカンファレンスに家族の参加を呼び掛け、本人と共に参加してもらう。	12ヶ月
3	3	入居以前の人や場所とのつながりが継続出来ていない利用者もいる。入居以前の生活が職員全員ははあくしていない。	入居以前の生活やその人なりが理解出来るようにフェイスシートの書き込みを密にする。職員全員が家族と積極的に会話をし、得た情報は共有する。	本人や家族との会話の中で得た情報はその都度メモをして、フェイスシートに書き足していき新人職員でも読めば解るようにしていく。入居時につながりが継続出来るように十分な話し合いを行う。	12ヶ月
4	2	地域と繋がりがながらの生活はあまり出来ていない。	日常的に散歩や買物に出掛けたり、地域の行事等にも参加できるようにしたい。また、グループホームで開催する行事や避難訓練に参加してもらえるようにする。	安全を第一に考えながら、散歩や買い物に積極的に出掛けることが出来るように職員の配置をする。近所の方に参加してもらえるように避難訓練の時や行事など声かけをしてみる。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。